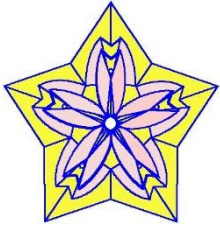


平成29年9月29日



とべだより

10月号

横浜市立戸部小学校

校長 柳澤 潤

戸部小のよさを発揮して

学校長 柳澤 潤



青空が一段と高くなり、すじ雲やうろこ雲が鮮やかです。じめじめと暑かった日々が一転、とても過ごしやすい気候になりました。学習にもスポーツにも、最適の季節を迎えています。

9月16日実施のとべスポ（とべとべスポーツフェスティバル2017）は、一時の雨による中断をものともせず、子どもたちは完全燃焼をすることができました。最後まで、応援、声援をいただいた地域・保護者の皆様、大変ありがとうございました。

とべスポには、「戸部小ならではの」がたくさんあります。聖火台のアイデア募集や聖火台づくり、聖火リレーや点火のセレモニーなど、まさに本格的です。入場行進や整列など、移動の小集団が「とべフレグループ」（異学年の縦割り少人数グループ）ごとであるのも特徴です。「とべとべコール」や「イエーイ」というかけ声には、手拍子がつき、リズムがあり、基本形と変化形があって独特です。いろいろな楽器が勢揃いの行進曲隊も見事でした。いずれも本校の特徴であり、大切にし、磨いてきたものです。

低・中学年の団体演技は、創作の表現でした。1・2年生は、ポンポンを使ったリズムとテンポのあるダンスの表現、3・4年生は、切れのある手旗の表現と素早い隊形移動がありました。練習のたびに上達がわかり、当日の一体感のある動きは、揃っていて見応えがありました。団体競技やリレーも白熱しました。リレーのバトンパスがとても上手でした。

5・6年生の団体演技は、伝統の演技「野毛山ソーラン」。プログラムの変更により、午前部のトリを務めます。はじめに全員で円陣を組み、気合が入ります。軽快な動きから一転、法被のしなやかな動きと力強い声が合わさり、迫力で圧倒しました。最後のきめポーズの演出には、会場のみんなから大きな拍手が起きました。

また、昼食の短い時間を利用して、学校運営協議会の皆様との意見交換もさせていただきました。参会者からは、「応援団をはじめ、みんなの必死の応援に涙が出ます。低学年が全力なもの、感心します。」との感想をいただきました。午後の応援合戦では、団長の振り絞った声や、息のそろった勢いのある応援が印象的でした。私は、閉会式で喜びを素直に表す低学年の様子、そして、涙を流す6年生の姿を見た時、思わず胸が熱くなりました。「全力、本気」の子どもたちが、戸部小ならではの、よさであると強く感じました。青少年指導委員の皆様のお道具準備やグラウンドキーパーの働き、おやじの会の皆様の活躍もありました。大変お世話になりました。

さて、11月2日の「生活・総合」授業公開が迫ってきました。今回は、学習指導要領が改訂され、初めて実施される「全国大会」での授業公開となります。戸部小の「生活・総合」は、学級ごとに取り組みが違います。何に課題意識をもち、何を追求して、何を実現するか。子どもと教師が学習を通して、練り上げていきます。本校では、「夢をもち、夢を実現する子ども」を研究主題にして、夢をもつこと、夢を実現することの確かな力を育もうとしています。そこで活動を支えるのは、なんとといっても子どもたちの一生懸命さです。戸部の子どもたちの強みは、「全力、本気」の活動が成功体験となって、自信と粘り強さにつながっていることです。授業公開を通して、戸部の子どもたちの主体的な取り組みや、よさを全国の先生方に知っていただき、私たち教員も一層授業力を磨いていきたいと願っています。

今月も、地域・保護者の皆様、どうぞよろしくお願ひします。